

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	トレーナー概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	前期 金曜3限	教室名	402
担当教員	井上 佳子	実務経験と その関連資格	アスレティックトレーナー取得後19年目、バスケットやソフトボール、女子ラグビーなどのチームのトレーナー経験あり。AT専任教員主である。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 本講義では、スポーツ環境におけるATの役割とその業務を具体的に示し、JSPOAT養成の歴史的背景や趣旨、設立に至った背景および諸外国の状況を理解し、ATの組織的な活動に触れ、その位置づけや運営管理について学び、コーチ、スポーツドクターなど様々な分野の専門家といかに連携をとって選手をサポートしていくかなどATが現場で活動する上で必要な知識を養うとともに、社会的秩序や倫理観を身につけることをねらいとする						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 試験素点70%(筆記試験) 出席点 20% 平常点 10%(レポート提出や授業態度を含む)						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①						
<b>《授業外における学習方法》</b> 高校生を対象に勉強会を開く設定で、RICE処置、ストレッチング、熱中症を防止するための水分補給、試合前の栄養学などについて事前学習をレポート提出する(配付資料をイメージして作成する)						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> アスレティックトレーナーの役割を十分に理解するための土台科目となります。これから現場に出ていく上での基礎科目になるため、7つの役割を具体的に理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	・JSPOAT養成事業について理解できるようになる・わが国のATの歴史的背景が理解出来るようになる・ATの起源と歴史について理解できるようになる・諸外国のトレーナーに相当する業務について理解できるようになる	・テキスト ・配布資料	ATが出来ること、柔道整復師ができることをピックアップしてくる	
		各コマにおける授業予定	A:ATとは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	・ATの任務、役割が理解出来るようになる	・テキスト ・配布資料	前回の資料を見直す	
		各コマにおける授業予定	B:ATの役割①②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	・ATの具体的な業務が理解出来るようになる	・テキスト ・配布資料	前回の資料を見直す	
		各コマにおける授業予定	B:ATの役割①②			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	・ATの具体的な業務が理解出来るようになる	・テキスト ・配布資料	前回の資料を見直す	
		各コマにおける授業予定	B:ATの役割③ATの活動			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	・サポートチーム、メデイカルスタッフについて理解出来るようになる・コーチの役割とその連携、協力について理解出来るようになる	・テキスト ・配布資料	前回の資料を見直す	
		各コマにおける授業予定	C:医科学スタッフとの連携			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	・スポーツドクターの役割とその連携、協力について理解できるようになる ・その他医科学スタッフの役割とその連携、協力について理解できるようになる	・テキスト ・配布資料	前回の資料を見直す
		各コマにおける授業予定	C: 医科学スタッフとの連携		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	・スポーツの組織が理解出来るようになる・ATの組織作りが理解できるようになる ・ATの体制作りが理解出来るようになる・ATの組織運営について理解できるようになる ・記録の必要性和その方法について理解出来るようになる	・テキスト ・配布資料	前回の資料を見直す
		各コマにおける授業予定	D: 組織の運営と管理		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	・社会の秩序について学ぶ・ATの社会的な立場と貢献について学ぶ ・ATの倫理について学ぶ	・テキスト ・配布資料	前回の資料を見直す
		各コマにおける授業予定	E: ATと倫理		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	・倫理規定について学ぶ・ATとその法的諸問題について学ぶ	・テキスト ・配布資料	前回の資料を見直す
		各コマにおける授業予定	E: ATと倫理		
第10回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	母校実習での学生トレーナーの役割を理解できるようになる	参考資料 レポート	母校実習先の住所、学校長のフルネーム、クラブ顧問のフルネームを調べる
		各コマにおける授業予定	母校実習準備		
第11回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	ミニ勉強会で伝える内容についてグループでまとめることを出来るようになる	参考資料 レポート	ミニ勉強会の担当分野についてA4 1枚要約し てくる
		各コマにおける授業予定	母校実習準備		
第12回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	グループごとに勉強会の内容を発表し、他の班の内容も理解できるようにになる	参考資料 レポート	配付資料を作成し、グループで発表準備を行う
		各コマにおける授業予定	母校実習GW発表 ディスカッション		
第13回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	足関節内反捻挫の予防のためのテーピングを出来るようになる	アンダーラップ テーピング	テーピングを切る練習を行う
		各コマにおける授業予定	足関節テーピング 練習		
第14回	講義・実習形式	授業を通じての到達目標	足関節内反捻挫の予防のためのテーピングを出来るようになる	アンダーラップ テーピング	前回の復習で左右1回以上練習する
		各コマにおける授業予定	足関節テーピング 練習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	ATの7つの役割の本質を理解できるようになる	テキスト	テキストの内容を復習する
		各コマにおける授業予定	まとめ		